

# 〈音楽家の耳〉トレーニング検定試験



## 受験案内

エリザベト音楽大学

ELISABETH  
University of Music

### 〈音楽家の耳〉トレーニングとは？

「〈音楽家の耳〉トレーニング」とは、エリザベト音楽大学で開発した、音楽家にとって必要な耳を育てるためのシステムです。この教育システムは、2007年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に音楽大学として初めて選定され、高い評価を受けています。

### 音楽家にとって必要な耳とは、音の高さやリズム、 そして、音楽の表現や、流れを瞬間的に捉える耳。

音楽家にとって必要な耳を育てるために、視唱、聴音などの楽譜中心のトレーニングだけでなく、(楽譜を見ずに)音楽を聴きながら、リズム、音程、和音、曲の特徴、時代背景などを耳で捉えるためのトレーニングを行います。

併せて、楽式論、音楽史などの知識も、順次学習していきます。

“耳”を育て、音楽のレパートリーを拡げていくために、中世から現代まで、古今東西のさまざまな音楽を取りあげながらトレーニングを行うという特徴をもっています。

### 〈音楽家の耳〉トレーニング検定試験とは？

検定試験は、日頃のトレーニングで養った能力を、客観的に確かめ、その後の学習の指針として役立つ目的で行っています。14のグレードに分かれており、音楽を始めたばかりの方から、高度な知識、技能をもっている方まで、幅広く対応しています。

### 受験資格

年齢・経験を問わず、音楽を始めたばかりの初歩の方から、音楽を専門に指導している上級者まで、どなたでも受験することができます。(複数のグレードを同時受験することはできません。)

### 実施日(2023年度)

回	実施日	受付期間(必着)	実施グレード
1	7月16日(日)	6月8日(木)~6月15日(木)	1, 3, 5, 6, 7, 8, 9, 12
2	12月10日(日)	11月2日(木)~11月9日(木)	2, 4, 5, 6, 7, 8, 10, 13
3	2024年 3月9日(土)	2024年 2月1日(木)~2月8日(木)	1, 3, 5, 6, 7, 8, 11, 14

※各グレードの開始時間は、受験票発送にあわせてお知らせします。  
※受験票は実施日の約1週間前に発送します。

### 検定料(税込)

グレード 1~4	¥ 2,000
グレード 5~6	¥ 3,000
グレード 7 以上	¥ 6,000

※エリザベト音楽大学付属音楽団生は検定料が半額になります。  
※受験生の都合でキャンセルの場合、一度納入された検定料は返金できません。

### 試験会場

エリザベト音楽大学 (大学周辺地図は裏面をご参照ください。)

### 申込方法・問い合わせ先

エリザベト音楽大学検定試験申込書に記載の申込方法をご参照ください。

〈エリザベト音楽大学 学事部検定試験係〉

〒730-0016 広島市中区鞆町4番15号

TEL:082-225-8015 FAX:082-221-0947

E-mail:gakumu01@eum.ac.jp

### その他

〈音楽家の耳〉トレーニングの課題項目の一つである「リズムパターンをたたきながら真似して歌う」を体験していただける動画を作成しました。こちらからご覧ください。



グレード5以上の取得者は、エリザベト音楽大学の入学試験での楽典・ソルフェージュが免除されます(初年度奨学生入学試験(音楽文化学科総合型特別選抜入学試験)を除く)。

(詳しくは、「学生募集要項」(無料)をご覧ください。)

## 認定基準

それぞれの試験内の項目は、0点～3点の4段階で採点されます。すべての項目の点数を合計し、100点満点に換算して、60点以上が合格となります。各試験項目は、同じ配点なので、特に上級グレードでは、不得意な項目があっても合格する可能性があります。

### 【例1】(グレード1: 3項目で9点満点)

試験項目	拍子をたたく	リズムをたたく	真似して歌う	合計	100点換算
得点	3	2	1	6	67

9点中6点ですので、100点満点に換算すると67点になり、合格です。

### 【例2】(グレード7: 6項目で18点満点)

試験項目	視唱	2声の下のパートを歌う	覚えて演奏する	音楽の表情と形式の理解	聴音	即興	合計	100点換算
得点	2	2	3	3	2	0	12	67

18点中12点ですので、100点満点に換算すると67点になり、合格です。

## 試験内容について

各グレードによって試験項目が異なります。詳しくは、下記の表をご覧ください。

また、試験課題の実例については、『新版〈音楽家の耳〉トレーニング』Part 1・2(近藤譲監修 エリザベト音楽大学編 春秋社)をご覧ください。

(右頁にも、試験課題例を載せていますのでご参照ください。)

## 認定の発表

後日、可否を郵送します。可否の発表の際には、項目別の得点表(試験官のコメント付き)もお渡しします。その後の勉強のために役立ててください。

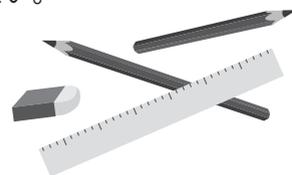
## 各グレードについて

それぞれのグレードの程度は、おおよそ次の通りです。

初歩者	グレード 1～2
初級者から中級者	グレード 3～5
中級者から上級者	グレード 6～10
上級者	グレード 11～14

## 持参物

グレード4以上の受験者は、筆記用具を持参してください。



	グレード	試験内容									
初歩者	1	拍子をたたく	リズムをたたく	真似して歌う							
	2	拍子をたたく	リズムをたたく	真似して歌う	視唱		曲の表情を感じる				
初級者から中級者	3・4		リズムをたたく	リズムパターンをたたきながら真似して歌う	視唱	覚えて演奏する	曲の表情を感じる	違いを見つける(音高、リズムの違いに気づく)			
	5		リズムをたたく	リズムパターンをたたきながら真似して歌う	視唱	覚えて演奏する	音楽の表情と形式の理解	違いを見つける(音高、リズム、和音等の違いに気づく)			
中級者から上級者	6・7			2声の下のパートを歌う	視唱	覚えて演奏する	音楽の表情と形式の理解			聴音	即興
	8・9			3声の中か下のパートを歌う	視唱(強弱等の表情をつけて)		音楽の表情と形式の理解			聴音	即興 移調
	10				視唱(強弱等の表情をつけて)	2声の記憶唱と記憶演奏	音楽の構造と様式の理解			聴音	伴奏の即興 移調
上級者	11・12				視唱(強弱等の表情をつけて)	2声の記憶唱と記憶演奏	音楽の構造と様式の理解	楽譜との相違点の認識		聴音	伴奏の即興
	13					3声の記憶唱と記憶演奏	音楽の構造と様式の理解	楽譜との相違点の認識			※自由即興 ※通奏低音
	14						音楽の構造と様式の理解	楽譜との相違点の認識			※自由即興 ※通奏低音

\*グレード13、14の自由即興、および通奏低音については、試験時に行いますが、採点項目には含めません。



# グレード別 課題例

## グレード1 [拍子をたたく]

音楽にあわせて、拍子をたたきなさい。  
演奏が始まったら、できるだけ早く音楽に加わりなさい。  
強拍にアクセントをおきなさい。  
演奏が終わったら、拍子を答えなさい。

〈課題曲〉 G. ピゼー  
アルルの女 第2組曲 メヌエット

## グレード4 [覚えて演奏する]

先生が旋律を3回演奏します。覚えて演奏しなさい(または、歌いなさい)。主和音は〜で、開始音は〜で、拍子は〜です。

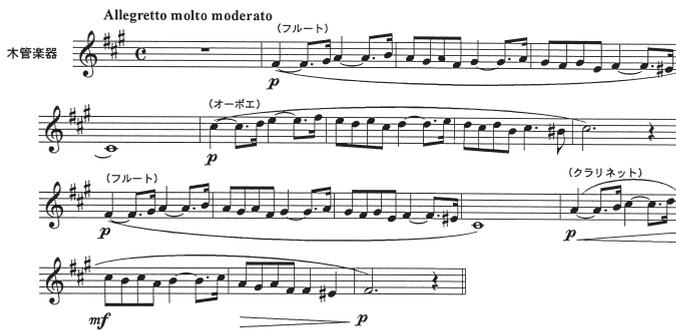
Tempo di Menuetto



〈課題曲〉 W. A. モーツァルト  
オペラ《フィガロの結婚》K 492 第4幕 第7場  
No. 26 アリア(若いウチは)

## グレード6 [聴音]

※CDなどの録音を用いて試験を行う場合。  
(次の曲は、管弦楽のための曲です。1〜17小節を聴かせて)  
次に演奏する曲を聴いて、オーケストラの木管楽器の旋律を楽譜に書き取りなさい。  
音部記号はト音記号、調は嬰へ短調、拍子は4分の4拍子、小節は17小節です。  
まず1度聴いて、テンポ、拍子などを把握しなさい。  
そのあと、出題演奏は、6回です。



〈課題曲〉 G. フォーレ  
パヴァーヌ op. 50

## グレード7 [音楽の表情と形式の理解]

次の曲を注意して聴きましょう。  
そのあと、テクスチャについて質問します。  
【質問】-多声的な音楽ですか、和声的な音楽ですか。  
-何声部の曲ですか。  
-主題に注意して、もう一度聴きましょう。主題を歌いなさい。

〈課題曲〉 G. P. da パレストリーナ  
鹿のように

## グレード9 [3声の中か下のパートを歌う]

楽譜を見て、先生が演奏する他のパートと一緒に、中か下のパートを歌いなさい。主和音は〜で、開始音は〜で、拍子は〜です。  
2小節カウントしてから始めます。  
中のパートを歌いなさい。

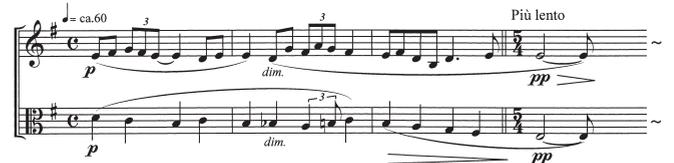
Tempo di Menuet



〈課題曲〉 J. ハイドン  
バリトン三重奏曲 第1巻 2.イ長調 HobXI:2 終曲

## グレード11 [2声の記憶唱と記憶演奏]

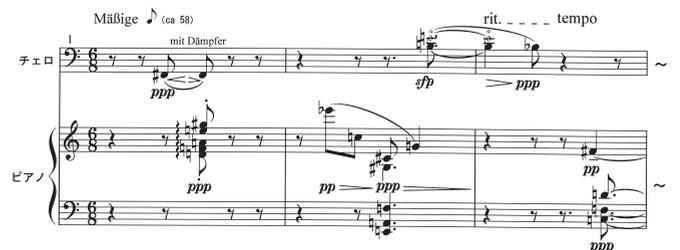
先生が2声の旋律を2回演奏します。  
上のパートを覚えて歌いなさい(または、演奏しなさい)。  
主和音は〜で、開始音は〜で、拍子は〜です。  
(先生は、生徒が演奏するとき、下のパートを演奏しないこと。)



〈課題曲〉 O. レスピーギ  
ローマの松 2.カタコンバ付近の松

## グレード13 [楽譜との相違点の認識]

演奏を聴いて、楽譜との違いのある箇所に、印をつけなさい。  
2回聴きましょう。  
演奏が終わったら、違いのある箇所について説明しなさい。  
次の楽譜は、1か所は強弱、もう1か所はテンポが演奏と違っています。



〈課題曲〉 A. ヴェーベルン  
3つの小品 op. 11 I

## グレード14 [音楽の構造や様式の理解]

次の曲を注意して聴きましょう。  
そのあと、構造と様式について質問します。  
聴きながら、メモをとってもかまいません。  
【質問】-この曲について、時代背景や民族の特徴をふまえて説明しなさい。  
-この曲の様式に沿って、即興演奏をしなさい。

〈課題曲〉 F. F. ショパン  
マズルカ へ長調 op. 68-3